

人工知能(AI)による網膜視神経疾患の自動診断法の検討に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2018年12月3日 ～ 2028年3月31日

〔研究課題〕 AIによる網膜視神経疾患の自動診断法の検討

〔研究目的〕 眼科においては眼底写真など様々な画像を用いて診断を行います。それらの画像に関して人工知能(AI)を使って、自動的に診断や予後予測ができるような方法を開発する研究です。

〔研究意義〕 AIによってある程度自動診断できることにより時間の短縮や医師による診断のばらつきなどがなくなる可能性があります。

〔対象・研究方法〕 対象となるのは、2009年5月から2023年2月の間に帝京大学医学部附属病院眼科を受診した網膜視神経疾患の症例の方の眼底写真、光干渉断層計像、視野、年齢、屈折などを用いて、正常な方のもものと比較して、AIにより正常、異常の診断や予後予測などの方法を開発することです。

〔研究機関名〕 帝京大学、医療法人社団済安堂 井上眼科病院、医療法人新光会

〔個人情報の取り扱い〕 患者さんのデータは帝京大学医学部眼科学講座で匿名化し厳重に保管・管理し、個人が特定できないように配慮いたします。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問い合わせ先

：
研究責任者：井上裕治（帝京大学医学部眼科学講座 准教授）
住所：板橋区加賀 2-11-1 TEL：03-3964-1211（代表）〔内線 32626 〕